

3年ぶりの開催!

# 夏を彩った祭りを追う



## 大きな灯籠で盛り上げる!

今年の夏、区内では新潟まつりや沼垂まつりが開催。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、縮小や時間変更など例年とは異なる祭りとなりましたが、3年ぶりに賑わいを見せました。



## みんなで力を合わせた子どもみこし

8月7日、気温30度を超える炎天下の中、自分たちで作った個性豊かなみこしを担ぎ、古町7番町から白山神社までの道のりを歩く子どもたち。出発前、豊照サッカー少年団の高須史翔さんは「キャプテンとして最後までみんなと一緒に頑張りたいです」と意気込んでいました。チームのメンバーと力を合わせ、時折笑顔を見せながらみこしを担いでいました。



8月16日、沼垂まつりが開催されました。沼垂白山神社を出発し、沼垂周辺の地域住民が神輿や献額灯籠を担いで町を練り歩きました。道中5カ所で行われた「神輿くぐり」では、小さな子どもから大人まで、多くの人が神輿の下をくぐりお祭りを楽しんでいました。

例年、実施していた町内ごとに灯籠をぶつけ合って対決する「献額灯籠の押し合い」は、密を避けるためやむなく中止。祭り自体も開催時間を変更するなど、大幅に規模を縮小しての実施となりましたが、久しぶりにお祭りの音が町中に響き渡りました。参加者は「3年ぶりにやることでうれしいです。コロナ禍になる前の盛り上がりを知っているので、少し寂しさも感じます。早く元の形で開催できるようにしてほしいです」と話していました。



## 練習の成果を披露! お祭り広場

万代シティバスセンター2階と古町フル広場を会場に、キッズダンスや古町芸妓の踊り、萬代太鼓の演奏などが披露されました。万代長嶺小学校の生徒たちによる萬代太鼓では、躍動感ある演奏で観客を魅了していました。



## 古町花街展『近代花街への軌跡』

古町花街の成り立ちから現在までの歴史を紹介するパネル、関係資料の企画展を開催します。さらに、古町の人形店で昭和初期に制作された芸妓・遊女の人形を特別公開。古町に今も継承される花街の魅力をより身近に感じてみませんか。

10月30日(日)まで  
開館時間 午前9時30分～午後6時(10月は午後5時閉館)  
場 旧齋藤家別邸 ※古町柳都カフェ(古町通9)でコラボ展示あり  
入館料のみ(300円) ※古町柳都カフェの見学は喫茶利用が必須

関連イベントの詳細は、別冊情報ひろばや旧齋藤家別邸のホームページ=二次元コード=で確認できます。  
※いずれも別途入館料必要。

「新潟市LINE公式アカウント」では、新型コロナウイルス感染症の対応方法をいつでも確認できます。



じっくり1時間 着物での所作と舞の美しさを堪能

## 古町芸妓お昼の舞 参加者募集中



10月29日(土)午後2時～3時  
場 市民プラザ(NEXT21・6階)  
内 古町花街に関連した講話、古町芸妓による舞の鑑賞  
人 200人 ※応募多数の場合は抽選

9月9日(金)までに、はがきまたはメールに参加者全員(5人まで)の氏名・電話番号・住所を記入し、中央区地域課(〒951-8553、メールchiiki.c@city.niigata.lg.jp)へ  
※送り先が〒951-8553の場合は住所の記載不要  
場 地域課産業文化振興室(☎223-7054)



《広告欄》